

岐阜北ロータリークラブ

卓 話 (1)

テーマ 「スポーツ少年団の現状と指導について」

講 師 常磐スポーツ少年団バレー部

代表 熊沢一朋様

皆様のご協力のおかげをもちまして今年も先日の日曜日悪天候ではありましたが、9月4日に「第21回岐阜北ロータリーカップ2011バレーボール大会」の第1日目として開会式をJAアグリパークにて、予選会を同じくJAアグリパーク・方県小学校・常磐小学校にて無事開催することができましたことを改めてここに報告させていただきます、本当にありがとうございました。

日曜日の予選にて決勝へ進出したチームは以下の通りです。

6年生・・・常磐・岩野田北・鷺山・合渡・藍川・城西

5年生・・・常磐・三輪南・七郷・島・方県・則武ヴィクトリーズ

以上の12チームは10月16日の日曜日に岐阜市北部体育館にて決勝大会が行われます。

お時間の許す方はぜひ会場に足を運んでいただければと思っております。



①スポーツ少年団の現状について

さて、私たちが日ごろ指導をしておりますスポーツ少年団について今日はバレーボールに限ってお話しさせていただきますが、現在岐阜市では35のチームが活動しております。そして、今回の「岐阜北ロータリーカップ2011」に参加した岐阜市北部・西部の地区に限ればその数は16です。この北西部地区はバレーの盛んな地区であるといえますが、岐阜県内を見渡しますと、岐阜・西濃地区は以前からとてもバレーボールが盛んな地域であるといえるかと思えます。

私自身もそうですし周りを見回すとほとんどの方がそういったきっかけで指導者となり、多くの方が子どもの卒業と同時に指導者も辞めていかれるのですが、人によっては自分の子どもが卒業して何十年経っても自分は卒業できずに指導を続けている・・・、こんなパターンがとても多いかもしれません。

ただ、こういった中にも自分の子どもはおりませんがずっと指導を続けておられる素晴らしい方も実際にいらっしゃいます。その方は、この地区では合渡の指導者で先日のロータリーカップの開会式でも役員として骨折りをしていただきました。その方は豊田合成で活躍された元Vリーガーの選手ですが、ずっと小学生・中学生の指導に当たっています。全国的に見てもこういった方はとても少ないのが現状です。非常に謙虚な方ですので私が宣伝させていただきました。私の知る限りでは、昔富士フィルムで活躍された熊田康博さんという方が、現在神奈川県で小学生を指導しておられるという話を聞いた程度です。熊田さんは選手を引退されてから解説などの仕事もしておりましたが、小学生バレーでの指導の重要性を知るに至り、今では自分でマイクロバスを運転して遠征に出かけているそうです。

②スポーツ少年団活動について

そんなスポーツ少年団の現状であります。その活動において私がいつも心にとどめているのは「活動は子ども、運営は保護者、指導は我々指導者」いわゆる三位一体であるべきだということです。もちろんスポーツ少年団ですから子どもがその中心であることには間違いありません、その活動を円滑にするために保護者はコーチに口出しすべきではありませんし、コーチもあまり運営面に口をはさむべきではないと考えていますが、それは普段のコミュニケーションが円滑であるという前提です、ひごりからある程度保護者・指導者が対等な立場で話ができる雰囲気作りもとても重要であるはずで。

やはりそれぞれがそれぞれの立場を認識しお互いの役割を果たそうとする気持ちが一番重要だと思いますしそういった考えをいつも口に出していないといけないかなとも考えています。

③指導について

さて、具体的な指導についてですが、指導者、特に代表者には「活動方針・目標」というものが必要だと思えます。これは会社経営者の方も全く同様かと思えます。私たち常磐スポーツ少年団バレー部の活動方針は「楽しく・厳しく」です。

ここで、いつも子どもたちに話すことは「楽しいってどういうこと？」ということなのです。

「楽しい」とは

- ・強いアタックが打てた。
- ・難しいボールがレシーブできた。
- ・狙った所へサーブが打てた。

こういった自分自身のプレーもありますが、

- ・ラリーが続いた。
- ・チームが1点取った、1セット取った。
- ・1勝できた、優勝した。

このように色々な場面が想定されると思えます。

それぞれのレベル、あるいは個人によってどこが楽しいという差はありますが、私の考えは「バレーボールは遊びである」といつも思っています。そもそも「play」という単語に「遊ぶ」という意味が含まれていることからみても明白ではないでしょうか？ そんな遊びであるからこそ必死になり遊びであるからこそ仲間を思いやる気持ちが重要ではないかと思うのです。

もうひとつ、子どもたちに話をすることは「楽しい」と「楽をする」では同じ漢字を使うけど意味が全く違うよ、ということなのです。練習で楽をしているは先ほど述べました、サーブを狙って打つとかラリーを続けるといったことは無理です。だから、練習を一生懸命やるのが「楽しい」につながるのだよとも教えています。

どんなスポーツでも当然ながらルールが存在し、それをもとにして勝敗がつくわけですが、スポ少活動につきましてはスポーツにおける「マナー」についても口うるさく指導しています。具体的には「試合中にエンドライン付近を歩かない」「審判に抗議をしない」「対戦相手や審判にちゃんとあいさつをする」、等々があります。もちろんルールブックには載っていません。バレーボールにおきましてもいろんなマナーが存在しますが、その原点は「リスペクトする」ということだと考えています。リスペクトを日本語にすると「尊敬する」という言葉が当てはまりますが、どうしても日本語ですと「目下の者が目上の者に対して」という意味合いが強くなると思えます。この場合のリスペクトという意味は「人としての価値を認める」ということになります。すなわち「上下関係が存在しない」と解釈していただいて結構です。

リスペクトとはフェアプレーの原点であり、味方・相手・審判・保護者・指導者…、極論すればボールやネット・支柱・体育館等々、支えあう周りの人や物をお互いが認めあう、言葉を換えれば「大切に思う」と考えてもいいと思えます。ですから、我々指導者としても子どもたちや保護者をリスペクトする気持ちは重要だと思えますし、そんな気持ちがなくてはチームの発展もないのではないのでしょうか？

そして究極の指導法は「ほめること」、これに尽きると思えます。もちろん、何でもかんでもほめるわけではありませんが、昔の「巨人の星」のように子どもを谷底へ落として這い上がってくるのを待つような時代ではないことは誰もが思っているのではないのでしょうか？ 子どもを常に見続けて「出来たこと」すなわち昨日は出来なかったが今日は出来た、ということを極端な言い方をすれば無理やりにも見つけてあげて子どもに伝えてあげる、そこでほめてあげることが子どもにとって「バレーは楽しい、もっとバレーをやりたい」というきっかけになると思えます。それはただほめるだけではなく、子どもに対してあなたをずっと見ているよというしるしでもあるはずなのです。逆に怒ることは目の前のプレーに対して怒るだけの場合がほとんどですから、子どもにとって「腑に落ちない」怒られ方もあると思えます。昔とは時代が違うと言ってしまえばそれまでですが、まさに昔とは時代が違うと思えます。特に、私くらいの年齢になると自分の娘よりずっと年下の子どもばかりですから「叱る」ことには注意を払わなければいけないと思っています。もちろん、仲間を傷つけたり、自分勝手な行動をとったり、基本的な約束を守れない子どもには叱ることはありますから。

次に「指導者の喜び・監督の喜び」というお話をしたいと思います。

まず、監督としては「勝ち」に喜びを見出すのが普通かと思いますが、指導者としての喜びの一つは「教えたことができた」ということだと思います。これは技術的なことに限らず、「練習試合に行ったら相手の監督にあいさつしよう」とか「靴をそろえよう」とか「みんなで声を出そう」といったことも含まれます、というよりこういった「技術外」のことのほうが多いかもしれません。すなわち、私たちはバレーボール「を」教えているのではなく、バレーボール「で」教えている、バレーボールを通していろんなことを教えているということなのです。

究極の目的はこれから大きくなっても社会のルールやマナーを守り、仲間と助け合い、全てのものに感謝する気持ち、そういったものを常に持ち合わせるによってより良く、みんなが過ごしやすい社会を作っていくことだと思います。

今日お話しさせていただいた私の話は「理想論」といわれるものがほとんどかもしれませんが。

ただ、理想なき指導ではこれから大きく羽ばたくであろう子どもたちを本当の意味で指導することは無理ではないでしょうか？

いま、常磐のチームは人数が多く6年生は男女に別れて活動していますが、男子チームは「常磐BBA」と名乗っています。BBA、すなわちBoys, be, ambitious! クラーク博士の「少年よ大志を抱け」から命名しました。とにかく子どもたち、特に男子には大きな夢を持ちそれに向かってがむしゃらに頑張ってもらいたいという想いからです。いずれにしましても、私たち指導者が大きな理想を掲げ、それに向かって努力する・努力させる、そしてしっかりと見届けて評価してあげる・・・、こんな作業が皆様のような一般の企業におかれましても重要ではないかと思っています。

私自身今後も今日お話をさせていただいた想いのもとで指導を続けていきたいと思っていますので、岐阜北ロータリークラブの皆様の今後さらなるご指導とご協力を賜りたく改めてお願い申し上げますとともに、皆様のさらなるご発展とご健勝を祈念して最後のお言葉とさせていただきます、どうもありがとうございました。

岐阜北ロータリーカップ2011 バレーボール大会
平成23年9月4日 JAアグリパーク鈴ヶ坂体育館

